

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成25年9月19日(2013.9.19)

【公開番号】特開2012-66026(P2012-66026A)

【公開日】平成24年4月5日(2012.4.5)

【年通号数】公開・登録公報2012-014

【出願番号】特願2010-215680(P2010-215680)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/107 (2006.01)

G 0 6 T 7/20 (2006.01)

A 6 1 B 5/11 (2006.01)

G 0 6 F 3/01 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/10 3 0 0 D

G 0 6 T 7/20 3 0 0 A

A 6 1 B 5/10 3 1 0 A

G 0 6 F 3/01 3 1 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成25年8月9日(2013.8.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 9 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 9 9】

支援画面生成部25は、動作姿勢評価部23から、各関節ごとの評価結果を取得し(ステップS91)、各関節の距離が所定の閾値以上となるか否かを判定する(ステップS92)。各関節ごとの評価結果は、先に述べたように、式(2),(3)などにより求められる、右手首関節や右ひじ関節などの各関節の距離に相当するものである。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 4 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 4 3】

このようにして、動作姿勢認識処理が実行され、画像取得部41から入力される画像データから、各部位ごとの関節角が求められると、ステップS114において、学習部42は、所定のジェスチャにより認識される一連の入力動作が終了したか否かを判定する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 4 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 4 4】

ステップS114において、一連の入力動作が終了していないと判定された場合、処理は、ステップS112に戻り、上述したステップS112乃至S114が繰り返され、画像取得部41によって、次のフレームとなる入力画像が順次取得される。続いて、順次取得される入力画像に対して、学習部42による動作姿勢認識処理が実行され、画像取得部

4.1 から順次入力される画像データから、各部位ごとの関節角が時系列で求められる。